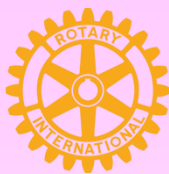


Rotary  
第2640地区



ガバナー月信

2022-23年度  
Vol.10

4

# Governor's Monthly Letter

地区スローガン

「行動し、実践することにより、“ロータリーの輪”を広げよう」

2022-2023年度 ガバナー 森本 芳宣

4月は「環境月間」



「和歌山城公園の桜」 写真提供:村田 弘至(和歌山RC)



イマジン  
ロータリー

2022-2023年度 R | テーマ

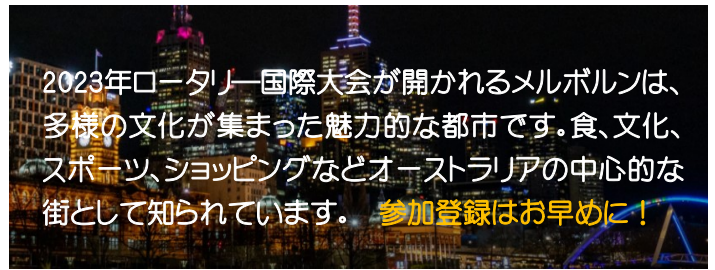
国際ロータリー 第2640地区 ガバナー事務所

〒640-8331

和歌山市美園町3丁目34番地 けやきONE 301号室

TEL 073-426-2640 FAX 073-426-2660

URL <http://rid2640g.com/morimoto>



2023年ロータリー国際大会が開かれるメルボルンは、多様な文化が集まった魅力的な都市です。食、文化、スポーツ、ショッピングなどオーストラリアの中心的な街として知られています。参加登録はお早めに！

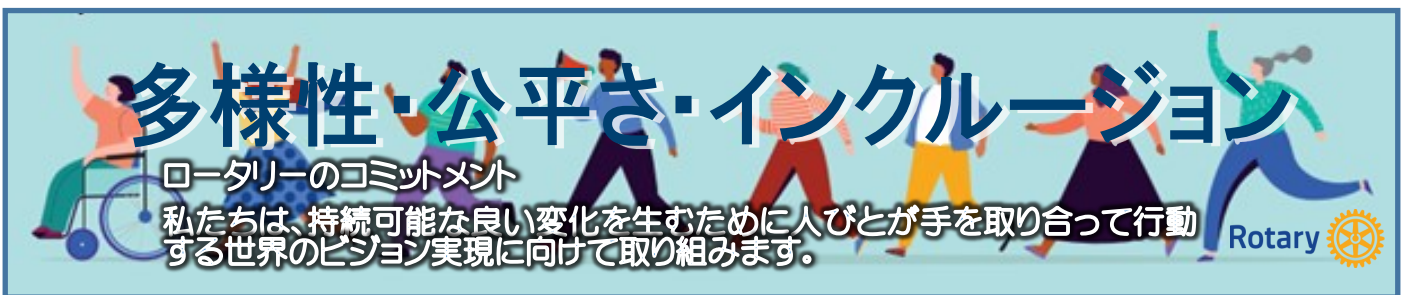
目次

RI会長 4月のメッセージ ..... 1  
 4月のガバナーメッセージ ..... 2  
 環境の保護 ..... 3  
 環境と持続可能性 ..... 4  
**【RIニュース】**  
 世界予防接種週間(4月24~30日) ..... 5  
 世界で広がるウクライナ支援のネットワーク ..... 6-7  
 ロータリーブランドの推進 ..... 8  
**【地区活動報告】**  
 ロータリー財団補助金管理セミナー ..... 9  
 My Rotary活用実務研修会 ..... 10  
 ロータリーリーダーシップ研究会(RLI) ..... 11  
 会長エレクト研修セミナー(PETS) ..... 12  
 2022学年度米山記念奨学生 修了式 ..... 13

【クラブ活動報告】

泉州聴覚障害者センターを支援 貝塚地区RC ..... 14  
 トルコ南部地震へ義援金 岸和田3RC ..... 15  
 こども絵画コンクール 岩出RC ..... 16  
 有田川町駅伝移動例会 有田2000RC ..... 17  
 国際交流センターへの書籍寄贈 和歌山東RC ..... 18  
 創立30周年記念式典 海南西RC ..... 19  
 創立25周年記念式典 和歌山アゼリアRC ..... 20  
**【寄稿】** メイクアップの勧め！とゴールド会員 ..... 21  
 新会員の紹介 ..... 22  
 ハイライトよねやま Vol.276 ..... 23-24  
 コーディネーターニュース4月号 ..... 25-26  
 会員数報告(2023年2月) ..... 27  
 My Rotary 登録状況(2023年3月) ..... 28  
 4月の行事予定 ..... 29

地域社会にインスピレーションを



ロータリーのビジョン声明

**私たちは**世界で、地域社会で  
そして自分自身の中で  
持続可能な良い**変化を生むために**  
人びとが**手を取り合って**  
**行動する**世界を目指しています

より大きな **インパクト**をもたらす  
参加者の **基盤**を広げる  
参加者の**積極的な** **かかわり**を促す  
**適応力**を高める

ロータリーの中核的価値観

**親睦**  
**高潔性**  
**多様性**  
**奉仕**  
**リーダーシップ**



## RI 会長メッセージ

RI 指定記事

## ロータリー青少年ネットワークのご紹介

最悪な状況の中から最善のことを引き出すにはどうすればよいでしょうか？

コロナ禍が私たちの世界を、そして私たちの生活を一変させたことを忘れる人はいないでしょう。私たち一人一人がこの不確実な時代を乗り越えなければならず、その影響を逃れられる人は誰一人としていませんでした。

その結果、私は、これまでとは異なるグローバルリーダーシップ、つまり、勇気と共感力を備えていると同時に、感受性豊かなリーダーたちのための場所をつくり出したと感じています。2020年初め、今は良き友人となったアニエラ・カラセドさんとオンラインで出会いました。彼女はそのようなリーダーの一人であり、今月のこのコラムを彼女に引き継げることをうれしく思います。

ジェニファー・ジョーンズ  
2022-23年度 国際ロータリー 会長

2020年3月、私はパニック発作を起こしました。息ができず、胸にひどい痛みを感じました。世界保健機関（WHO）が新型コロナウイルスをパンデミックと宣言した時、私はロータリー青少年交換でアメリカに留学中でした。考えてみてください。18歳の少女が言葉も異なる異国で、知り合ってわずか半年しかたない人と生活していたのです。それは恐怖でした。

政変を繰り返すベネズエラで生まれ育った私は、状況がよく変わることに慣れていました。母はいつもこう言いました。「困難は、解決が必要なニーズに過ぎない」と。

私はインターアクトや青少年交換プログラムで出会った友人に連絡し、オンラインで会合を開きました。その目的は、情報を交換し、自粛生活の中で他の人たちが行う活動から刺激を受けることでした。最初の会合では、17カ国から主に学生70人が参加しました。

それが発端となり、世界中のロータリーのプログラムに参加する若者が経験を分かち合い、プロジェクトのアイデアを紹介してインスピレーションを得るためのオンラインプラットフォームが構築されました。若い人たちをつなぎ、文化を共有し、国際奉仕プロジェクトの新たな機会を見つけられるよう、手助けしてくれるメンターやサポーターも探しました。私たちはこのグループを、「Rotary Interactive Quarantine (RIQ)」と呼びました。

そのわずか1年後には、80カ国5,000人以上の学生と交流していました。中には地区インターアクト代表や地区委員会の委員になった人や、RIで諮問委員会の委員を務めている人もいます。

やがて行動制限が解除され、参加者のニーズは変化しました。RIQとしての最後の公式会合で、バリー・ラシン元RI会長からもっと大きな変化を生み出すことへのインスピレーションを与えられた私たちは、RIQを「ロータリー青少年ネットワーク (RYN)」へと生まれ変わらせました。そして、私を含む数人のメンバーがインターアクト諮問委員会の初代委員に選ばれ、ロータリーの青少年のためのビジョンをRI理事会に提示しました。

理事会でのプレゼンテーションは、ジェニファーRI会長とそのチームが、RIに青少年諮問委員会を設置するきっかけとなりました。私は今、その共同委員長を務めていることを光栄に思います。

RYNは、ヒューストンでの2022年ロータリー国際大会の分科会で正式に発足しました。インターアクトやロータリー青少年交換、ロータリー青少年指導者養成プログラム (RYLA) への参加経験がある私たち5人は、2年前にオンラインで始めた組織を立ち上げるため、ヒューストンに集まりました。国際大会は、私たちが初めて直接会う場となりました。

私たちが発表を終えた時、500人以上が総立ちの拍手をしていることに気がきました。目には涙があふれ、興奮と達成感に満たされました。

あのパニック発作がこのような結果をもたらすとは、誰が想像できたでしょうか。

アニエラ・カラセド  
アメリカ・ミシシッピ州バイセントルイスRC  
第6840地区ローターアクト委員長エレクト



## PRESIDENT'S MESSAGE



## ガバナー メッセージ

ガバナー 森本 芳宣

## 4月は環境月間です。



環境は2021年7月より7つ目の重点分野となりました。  
2022年10月にRI理事会で決定された月間です。

天然資源の保全と保護を強化し、環境の持続可能性を高め、人と環境との調和を促す活動を支援するとあります。

脱炭素社会を目指し、地球温暖化対策としてクリーンエネルギーの方向に世界が進む中、昨年2月ウクライナ紛争の勃発により世界の石油、天然ガスの大きな産出国であるロシアの政策により石油、天然ガスの高騰により電力も高騰し、風力発電、太陽光発電では電力不足となり、火力発電で対応せざるをえない事となっています。

電気自動車の普及も日本では世界的には遅れてきています。

「環境」分野が紛争によって大きな影響を受けた1年だったと思います。

一日も早く「平和」が実現し、環境分野における目標が達成されていくことを祈る日々です。

## 重点分野の基本方針(2020年10月)

ロータリー財団は、ロータリー会員が以下のような活動によって環境を保護、保存、保全するのを支援します。

1. 陸地、沿岸、海洋、淡水資源の保護と回復
2. 天然資源の管理と保全を支援する地域社会と地方自治体の能力向上
3. 生態系の健全さを改善するための農業生態学および持続可能な農業、漁業、水産養殖の実践の支援
4. 気候変動と気候混乱の原因への取り組み、および温室効果ガスの排出削減のための解決支援
5. 気候変動と気候混乱の影響を受ける生態系と地域社会の回復力の強化
6. 環境を守る行動を推進するための教育支援
7. 資源効率の高い経済を築くために、生産物の持続可能な消費および環境に配慮した副産物の管理の提唱
8. 環境正義の問題と環境公衆衛生上の懸念への取り組み

## 環境を守るために行動を！

地区スローガン

「行動し、実践することにより、“ロータリーの輪”を広げよう」



国際ロータリー理事会は、昨年10月の会合で 4月を新たに「環境月間」としました。

ロータリーは、人類共通のレガシーである「環境」を守ることが重要だと信じています。ロータリーは、天然資源の保全と保護を促進し、環境の持続可能性を高め、人と環境との調和を促す活動を支援します。補助金やその他のリソースを提供し、地域特有のソリューションと革新を奨励しながら、気候変動と環境破壊の原因、およびその影響の削減に取り組みます。

### 環境を守るために行動を

「環境」は、ロータリー重点分野です。天然資源の保全、生態学的な持続可能性の促進、地域社会と環境の調和促進など、全世界のロータリーファミリーが環境プロジェクトに力を注いでいます。クラブは、ロータリーのネットワークや補助金を活かしてこうしたプロジェクトを実施し、草の根の解決策や革新的方法を取り入れ、気候変動や環境悪化の影響を抑えることができます。



環境への取り組みを開始、拡大する方法の一つに、環境と関連する数々のロータリー行動グループとの協力があります。

○The Rotary Action Group for Endangered Species (絶滅危惧種のためのロータリー行動グループ): 絶滅危惧種の保護を専門とする会員やこの問題に関心のある会員がメンバーとなり、大きなインパクトをもたらす奉仕プロジェクトをクラブや地区が立案するための支援を行っているほか、絶滅危惧種の保護に関心のある人たちの世界的ネットワークの構築にも力を注いでいます。昨年には、カーペンテリア・モーニング・ロータリークラブとともに、中米における授粉媒介動物に関するシンポジウムを共同開催しました。

○The Environmental Sustainability Rotary Action Groups (環境の持続可能性のためのロータリー行動グループ): ロータリー行動グループの中でも急成長しているグループ。メンバーの専門性、ネットワーク、知識、経験を活用することで、ロータリーファミリーによる環境プロジェクトを持続可能でインパクトの大きいものとするための支援を提供しています。これらのプロジェクトは、環境の持続可能性、気候変動に対する認識向上、温室効果ガス排出の削減と気候崩壊の軽減を目指しています。最近では、Project Drawdownと合同で、二酸化炭素レベルと温室効果ガスを減らすためのクラブ・地区向けの資料を作成しました。

### 地球を守るロータリーの取り組み

ロータリー財団は、ロータリー会員と地域社会の協力者たちによる以下のような活動に補助金を提供します。



- ①陸地、沿岸、海洋、淡水資源の保護と回復
- ②天然資源の管理と保全を支援する地域社会の能力向上
- ③持続可能な農業、漁業、水産養殖の実践の支援
- ④温室効果ガスの排出削減による気候変動の原因への取り組み
- ⑤気候変動の影響を受ける生態系と地域社会の強化
- ⑥環境を守る行動を促すための教育イニシアチブの支援
- ⑦より資源効率の高い経済を築くための持続可能な消費の提唱
- ⑧環境正義の問題と公衆衛生上の懸念への取り組み

## 環境と持続可能性 [メルボルン国際大会・プログラム]

環境の保護は、ロータリーの重点分野の一つです。私たちは、天然資源を保全・保護し、環境の持続可能性を高め、地域社会と環境との調和を促す活動を支援しています。

そのため、環境問題とほかの重点分野(水と衛生、母子の健康)との関連について、参加者を啓発するためのプログラムを盛り込むことに力を入れています。本会議のプログラムは現在作成中です。分科会では、以下を含む持続可能性に関する主題を取り上げます。



- ADOPT-A-RIVER(国連環境計画とロータリーのパートナーシップ)
- End Plastic Soup - stop the plastic pollution(プラスチック汚染をなくす)
- HAPPY PERIOD !Break the silence about menstration(月経の沈黙を破る)
- Of Mothers, Children, Plastic and Waste(母と子、プラスチックと廃棄物)
- Plant-Rich Diet:A DELICIOUS Climate Action(植物ダイエット:気候とおいしい行動)
- Water Collection for Sustainability:A Case study(持続可能な集水):事例研究

また、大会を企画する上で次のような配慮を行っています。

- シャトルバスの提供を減らし、ホテルから大会会場(Melbourne Convention and Exhibition Centre)、本会議のためのRod Laver Arenaなど、市内各所への移動にPTVシステム(公共交通機関)を利用すること。国際大会に登録した参加者にPTVの5日間パス(無料)を提供。
- 最新のスケジュール、場所、最新情報を提供する大会アプリ:これにより、プログラムや交通機関案内のための紙の使用を節約しつつ、重要な情報を入手することができます。
- 植物性食品、肉を使用しない食品のメニューへの追加。
- 使い捨てのプラスチック容器を最小限に抑えるため、会場周辺にウォータークーラー(冷水器)を設置。
- 分科会や「友愛の家」でのデジタルツールを用いた情報発信を増やし、その分の紙を節約。

ロータリーは、持続可能性が優先される街メルボルンで、環境と持続可能な方法の実践に対するコミットメントがある会場で国際大会を開催できることを誇りとしています。大会会場は、国連の17の持続可能な開発目標(SDGs)を戦略の土台としており、そのための強固なプログラムを実行しています。MCECの代表者は、クリエイティブなソリューションを提供し、業界のパートナーと協力することで、真に持続可能なイベント開催地となるよう、継続的に取り組んでいます。



【RIニュース】

## 世界予防接種週間(4月24~30日)

4月24~30日に世界予防接種週間がめぐってきます。ポリオ根絶に取り組むロータリーにとって、予防接種に対する理解と認識の向上はきわめて重要な意味をもちます。今からこの特別週間にちなんだご活動を計画されてみてはいかがでしょうか！

### ワクチンが地域社会の健康を守る

ポリオとの闘いにおける進展は、ワクチン接種の重要性を証明するものです。

世界保健機関(WHO)によると、ワクチンの効果に関する認識を高め、予防接種率を上げていくことで、ポリオを含むワクチンで予防できる疾病から世界中の何百万人もの人びとを守ることができるとされています。4月24~30日の世界予防接種週間は、予防接種活動に焦点を当てる機会となり、ロータリーと世界ポリオ根絶推進活動(GPEI)のパートナー団体が築いた強固なインフラを、その模範的な例として示すことができます。



GPEIは、ポリオワクチンによって、世界中で推定2,000万人の子どもが身体まひから救われたと推定しています。ロータリーがGPEIの発足に協力した1988年当時、ポリオによって世界中で毎日1,000人以上が身体まひになり、そのほとんどが幼い子どもたちでした。以来、ロータリーとパートナー団体はポリオ発症数を99%削減し、2021年には、野生型ポリオウイルスによる発症数がわずか6件となりました。野生型ポリオウイルスによる発

症が現在も起きている国は、アフガニスタンとパキスタンの2カ国のみです。

ポリオ根絶活動の進展は、支援が届きにくい地域社会の子どもたちに予防接種を行い、リアルタイムで世界規模のサーベイランス(監視活動)と発生時の対応システムを確立した無数のボランティアや医療従事者の努力の結果です。ポリオ根絶活動で築かれたインフラは、ほかの感染症との闘いや、新型コロナウイルスの予防接種活動の支援など、重要な保健活動に活用されています。

ポリオを根絶寸前にまで追い込んだ数十年の経験から、ロータリーは新型コロナウイルスのワクチンの効果と有効性を強調してきました。2020年に世界的流行が開始して以来、ロータリー会員は、保健当局が新型コロナウイルスに関する重要情報を伝え、誤った情報に対応し、公平かつ平等なワクチン入手を支援してきました。

世界ポリオ根絶推進活動 (GPEI)



## 【RIニュース】



## 世界で広がるウクライナ支援のネットワーク

1月26日、ウクライナのロータリー雑誌『Rotariets』編集長であるミコラ・スタビャンコさん(ウクライナ・ロータリーEクラブ会員)は、ロシアからの攻撃の中で一日を過ごしました。ミサイル一斉攻撃により11人が死亡、ウクライナ各地の重要なインフラが破壊され、スタビャンコさんが住むオデーサもその中に含まれていました。

停電にもかかわらず、現地の状況やロータリーの救援活動についてレポートすることへのスタビャンコさんの意志はゆるぎません。携帯電話を通じて、この1年間に数回経験した攻撃下の状況について、こう話しています。

「シェルターまで行けることもあります、その時間がないこともあります。アパートの中でじっと座り、攻撃が止むのを待つだけです。ターゲットの多くは軍事施設やインフラですが、ミサイルが市民の建物に当たることもあります。私たちが住む建物に当たったら、それが運命だと覚悟を決めています」

攻撃の最中でも、ロータリーによる支援活動の重要性について世界の会員に知ってもらいたいと、スタビャンコさんは考えています。今回、ロータリー会員がウクライナ国境付近に設置した複数の人道支援拠点での活動について話してくれました。スタビャンコさんによると、ハルキウでは、ショッピングセンターのオーナーであるロータリー会員たちが物資用倉庫としてスペースを開放しています。「ショッピングセンターの地下フロアすべてを人道支援拠点として使用し、毎日数千人に援助物資を提供しています。最前線にある町では、ロータリアンは英雄としか言いようがありません。自分の生活も大変なのに、ロータリアンとして奉仕活動を続けています」

ウクライナの会員たちが国内で配布している援助物資の一部は、世界中のロータリー会員が災害救援補助金を活用して調達したものです。これには、発電機、医療物資、緊急設備、仮設住宅、そ

のほかの物資に加え、避難民への支援が含まれています。

ロータリー財団がウクライナ人道支援のためにこれまでに授与した災害救援補助金は300件以上、その総額は1,500万米ドル近くに及びます。270以上の地区(全地区の半数以上)が補助金を提唱しました。こうした支援が実現した理由の一つに、米国のダイアナ・ネストロヴァさん(アクション・ボックスバラ・ロータリークラブ)の尽力があります。ネストロヴァさんは9月、500人以上を対象に、災害救援補助金についてのオンラインワークショップを開催しました。

「世界各地の知り合いの会員たちに、災害救援補助金とその申請方法、申請する理由などを説明しました。それが私にできることだと思ったのです」とネストロヴァさん。

災害救援補助金を活用した地区は50カ国以上にのぼり、これには、ウクライナから近いヨーロッパ諸国に加え、オーストラリア、ボリビア、コロンビア、インド、日本、韓国、ニュージーランド、南アフリカ、台湾、米国の地区も含まれています。実施された一部のプロジェクトを以下にご紹介します。

### 医療物資

ウクライナ大使によるロータリークラブでの講演を聞いた第9350地区(南アフリカ)の会員たちは、「自分たちに何ができるか」と問いました。これに対し、大使はこう答えました。「祈ることと、援助すること。その両方をぜひお願いしたい」【次ページへ】



医療物資を詰め込んだバン(ドイツ・ミュンヘンにて)。このバンがウクライナの人道支援拠点に届けられます。



## 【RIニュース】

支援方法を決めるのは簡単ではありませんでしたが、第1842地区(ドイツ)の会員による優れた取り組みを知り、これに協力することにしました。ドイツのロータリークラブとローターアクトクラブは、ウクライナに医療物資を届けるために、15人のチームが定期的にウクライナのロータリークラブ、病院、慈善団体と連絡を取って現地のニーズを調べ、コストを抑えるために物資を大量に仕入れ、最も必要とされているところに送るといった優れた仕組みをつくり出していました。

「送るのは主に緊急医療物資で、止血帯や包帯など戦時に必要なもの」と、ミュンヘン-バヴァリア・ロータリークラブ(ドイツ)会員のオリバー・パンケさんは言います。パンケさんは、この取り組みを指揮するためにフルタイムで活動しています。医療施設に大きなダメージがあったことを知った会員たちは、さらに幅広い物資を提供し始めました。「高血圧の薬やインスリンなども送り始めました。現在、ミュンヘンに約150種類の医療物資が集まっています」とパンケさん。チームはまた、体内の砲弾破片を探知する機器の調達と配布も行っています。

オーストラリア、日本、米国の地区も、補助金を活用してこの活動を支援しています。

### 仮設住宅

2022年の上旬、首都キーウから約33Km離れたムシユン村では、ロシア軍により建物の85%近くが破壊されました。これを受け、世界中のロータリー地区がムシユン村やウクライナ国内のほかのコミュニティに60以上のプレハブ仮設住宅を寄贈しました。6m×7mのこの仮設住宅は、クレーンで持ちあげることができ、冷蔵庫、ベッド、トイレとシャワー、電気パネルヒーターを備え、断熱もされています。

水設備、基本的教育、環境などに取り組んでいる台湾の第3462地区にとって、このようなプロジェクトへの支援は初めてでした。ガバナーのヤン・シーユーさんは次のように言います。

「ウクライナのロータリアンから支援の要請を受けたとき、ロータリアンとして、支援の必要性を感じ、すぐに行動を起こしました。地区のロータリアンも皆、私の決断をサポートしてくれました」

日本のロータリー会員もこの仮設住宅建設プロジェクトを支援しています。

### 救急車と発電機

インドと米国の複数の地区がウクライナの病院を支援する2件のプロジェクトで協力し、人口呼吸器、カテーテル、包帯などの医療品を備えた救急車を送ったほか、ウクライナの病院に新しい発電機4基を届けました。

「人びとの苦しみを和らげなければ」と、フロリダ州のレイクノーナ・ロータリークラブの財団委員長であるサンジェイ・デシュパンデさんは言います。「その気持ちで、私たちが駆り立てています」

### 避難民への支援

ウクライナ避難民が手荷物をほとんど持たずにシドニー(オーストラリア)にやって来たとき、現地の地区が行動を起こしました。

「多くの方が苦しんでいます。戦争のトラウマだけでなく、家族と離れ離れになったことへの不安や、未来への不安もあります」と話すのは、第9685地区ガバナーのウィルヘルミナ・ハワードさんです。ティナ・レイサムさん(キンカンバー・ロータリークラブ国際奉仕委員長)によると、物資寄贈活動のきっかけとなったのは、ほかのプロジェクトでした。

「ウクライナ国旗の色でデザインされたキルトを作ってウクライナ避難民の家族に贈る活動をしていました。そのうちに、オーストラリアにやって来る避難民の家族が、スーツケース一つと衣服の入ったバックパックしか持ってこられなかったことを知りました」

地元の公立学校、市民団体、薬局チェーンと協力して、地区はシドニー地域にいる136の家族に必需品を提供しました。子どもと51歳以上の大人がいる家族には、衣服、食料、調理道具、学用品、医薬品などに使うための300豪ドル(約2万7千円)相当のクーポン券を渡しました。

### ウクライナで広がるロータリー

世界中の地区は、ウクライナの人びとや避難民を支援するために災害救援補助金を活用しています。現在も続くロータリーによる世界的な取り組みに、戦禍に生きるウクライナの人たちも目を向けています。

【RIニュース】



# Rotary

## ブランドニュース

### ロータリーブランド推進のためのアイデア

## ロータリーの公共イメージ向上に力を注ぐ

ロータリーの公共イメージ推進者として、皆さまはロータリーがどのような団体で、どのように変化をもたらしているかについて人びとに伝える役割を担っています。クラブの活動とそのインパクトを広く伝えることで、会員、ボランティア、寄付者の関心を高めることができます。公共イメージ向上とロータリーブランドの強化にご尽力いただき、ありがとうございます。

### ブランドリソースセンターの新しいリソース

ブランドリソースセンターには、クラブの推進に役立つ新しいアイテムが随時掲載されます。ロータリー認識向上のヒント、既成の印刷・デジタル広告、画像、動画、音声クリップ、ダウンロード用テンプレートなど、多様なリソースが収められています。これらを活用して、ロータリー会員が行動人として変化をもたらしている姿を地域社会に紹介することができます。

新しいアイテムには以下が含まれます：

- ・クラブ名入りロゴ、「世界を変える行動人」の広告、クラブのパンフレットの作成方法を説明した三つの動画
- ・行動人としての会員を捉えた写真
- ・ロータリー青少年交換とロータリー青少年指導者養成プログラムの最新のグラフィック

[ブランドリソースセンターを開く](#)

### 力強いメッセージを作成する

ソーシャルメディアへの投稿、奉仕活動のボランティア募集、イベントでのスピーチなどで、見たり聞いたりする相手に行動を起こしてもらうに

は、具体的なメッセージや説得力のある事例が肝要です。ロータリーの行動計画を土台とした「コミュニケーションガイド」には、明確で効果的な以下のようなメッセージの伝え方が説明されています。

具体性をもたせる：単に「飢餓をなくそう」というメッセージではなく、具体的に「お腹を空かせた子どもたちに食事を」というメッセージの方が人びとにより良く訴えかけられます。

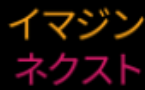
インクルーシブな言葉を使う：「ロータリアン」ではなく「会員と参加者」という言葉を使うことで、人びとがロータリーに参加しやすくなります。力強いコミュニケーションに関する詳細や事例は、[コミュニケーションガイド](#)をご参照ください。

### 皆さんのストーリーをお知らせください



変化をもたらし、地元や海外で人びとの生活をより良くしているクラブの活動をご紹介します。今後のロータリー発行物でご紹介させていただく可能性があります。



[Share your club's story](#)



convention.rotary.orgからご登録ください  
メルボルン（オーストラリア） | 2023年5月27日～31日

## 【地区活動報告】

## ロータリー財団補助金管理セミナー

地区ロータリー財団委員長 中野 均

日時 3月5日(日)13時～16時

場所 JAビル2階和ABC

内容 ロータリー財団補助金セミナー



補助金セミナーは、各クラブの奉仕活動に使用していただくため毎年開催しているセミナーです。このセミナー受講は、地区補助金申請するための条件としています。

今回は、森本ガバナー・谷ガバナーエレクトのご臨席を含め、36クラブより44名のロータリアン、ローターアクトクラブより3名の代表者が対面で、そして3名のロータリー財団学友及び元財団学友会会長の4名がZOOMで参加してくれました。

出席クラブの大半は、過去に補助金申請の経験があるクラブですが、2022-23年度地区補助金申請ハンドブックを使用し改めて申請の流れを説明しました。なかでも補助金申請額の計算方法について、月次寄付レポートを参照しながら説明させていただきました。

2013年より現在の補助金制度に変わり、当地区で財団学友が5名、現在3名が留学しています。学友5名の内2名と2008-09年度ウクライナ リビウ大学に留学し、現在もリビウ市在住の学友1名がZOOMで参加してくれました。2名の学友は、留学中の活動や現在の仕事の話をしてくれ、リビウ市在住の学友からは、西側地域のため大きな被害が比較的少なく、侵攻後1年が経った今、警報(空襲)が鳴ると、防空壕へ避難することが多くある旨、物価も高くなっており生活が厳しく、ニュースでは伝わってこない話をしてくれました。

出席者は、ウクライナ災害支援も必要ではないかと。思われたことでしょう。

今後も機会があれば財団委員会として、財団学友の報告をしていただくよう計画して参りたく思います。



## 【地区活動報告】

## My Rotary活用実務研修会



地区IT・ガバナー月信委員長 中谷 新治

地区IT・ガバナー月信委員会は、3月6日(月)、和歌山市でMy Rotary活用実務研修会を開きました。

当日は、クラブの事務職員及びクラブ幹事等の9クラブ、10名とZoomで17クラブ、23名の合計26クラブ、33名が参加しました。地区からは、森本ガバナー、中谷委員長、村田地区幹事、寺下地区幹事・副委員長(講師)が出席しました。

研修会では、My ROTARYの普及促進(登録率向上)と活用を目的にWi-Fi対応のパソコンを操作し、実際に全般の実務。会員情報の更新やクラブセントラルでの目標設定・実績入力、奉仕プロジェクト登録のほか、各項目の内容と活用について勉強しました。

現在、My ROTARYの登録数は、全体で716名 現在 44.67%であり、目標の65%に今年度末までに促進できるよう参加者に呼びかけました。

My ROTARYの実務研修は、コロナの影響のあり、5年ぶりの開催。事前に開催についてのアンケートでは開催希望が多く、事務局員が入れ替わっていることもあり、一定の成果があったと思います。特に次年度のクラブ幹事の参加も多く、今後は、定期的な開催と参加クラブを増やすことで、更なる普及、活用促進を目指します。



## 【地区活動報告】

## ロータリーリーダーシップ研究会(RLI)



地区RLI委員長 細川 幸三



今年度もRLI委員会は昨年度に続きRLIパートⅠ.Ⅱ.Ⅲを開催いたします。  
ご承知のように、新型コロナウイルス感染症は収束しつつありますが、皆様の健康安全や移動、会場準備等の問題もあり、リモート(ZOOM)での開催を選択させていただきました。

3月12日のパートⅠには9名の方が参加し、6セッション(各50分)を修了させていただきました。さすがロータリアンの皆様、活発なディスカッションがなされ、沢山のコミュニケーションがとれ、DLである私達も多くの気づきを頂き、多くの事を学ばせて頂きました。RLIは何度同じセッションを行っても参加者が変われば意見も変わり、正に百人百様でロータリーにおける指導原則や財団、米山記念奨学事業等々、ロータリーをこれほど語り合える機会はRLIにおいて他にはないと思います。RLI研修の良いところは、話を聞くだけの受講型研修ではなく、皆様に参加して頂く参加型研修です。各セッションのテーマを皆様にディスカッションして頂き、他の方のお話を聞く事により、気づきを得てロータリーをより理解する一番の近道ではないかと思えます。

でも少し残念な事も。当地区ではRLI日本支部が出来た直後からRLIに取り組んでいるにも関わらず、RLIの認知度が低く参加者が少なくなっています。様々な要因が考えられますが、RLI委員会では認知度アップが喫緊の課題であると考え、今後に向け取り組んでいきたいと考えています。また、本RLIを開催するにあたり、多くの準備が必要となり、特に研修会での進行役となるディスカッションリーダー(DL)の役割が大変重要でDLになって頂ける方には大変な負担をおかけすることになっていきます。本委員会では昨年7月より7回のDL研修(今年度残り2回 計9回)を重ねRLIに備えてきました。殆どのDLの皆様には2年間の長きにわたり大変貴重な時間を使って担当して頂いています。今年度の残り2回のパートⅡ.Ⅲに少しでも多くのロータリアンに参加して頂けることを御願い申し上げます。



**RLI(ロータリーリーダーシップ研究会)** とは、1992年アメリカニュージャージー州(国際ロータリー第7510地区)にて元RI理事のデビット・リネット氏の発案で始められた研修組織です。日本では2008年6月にRLI日本支部が結成されロータリーにおけるリーダー研修組織として発展し現在に至っています。

## 【地区活動報告】

## 2023-24年度のための会長エレクト研修セミナー PETS



次年度地区研修リーダー 藤井 秀香



2023-24年度ゴードン.R. マッキナリーRI会長は、『世界に希望を生み出そう』と年度のテーマを発表なさいました。私達は世界を平和をもたらし、紛争の影響を受けた人々を癒し、破壊的な紛争から、世界を立ち直れるよう希望を生み出さなくてはなりません。



谷ガバナーエレクトはスローガンを『思いやりあふれる！明るく！元気なロータリー！』と発表されました。明るく、優しくフレンドリーなガバナーが誕生します。

会長エレクト研修セミナーPETSは、国際ロータリーの新しいテーマを元に、ガバナーエレクトと委員長が、会長としての心構えや、任務などを、次年度のクラブ会長に伝えました。

クラブの成功のカギを握るのが会長。次年度の計画を立て、会員の積極的な参加を促し、リーダーシップチームとともにクラブの円滑な運営を行う初めてロータリークラブの会長となる方も、会長経験者も、会長としての1年間はクラブでリーダーシップを発揮し、地域社会に貢献できる貴重な機会となりました。

クラブリーダーシッププランCLP、クラブの未来を形成してゆく為に必要不可欠であるクラブ戦略計画を是非たてて下さい。これは、効果的なクラブとなるための活動計画の指標であり、以下の4つの要素としてまとめられています。

- ①会員の基盤を維持増強する
- ②成果のある奉仕プロジェクトを実施する
- ③ロータリー財団を支援する
- ④クラブ指導者を育成する

RIの「効果的なクラブ」の定義は、ロータリーの綱領を満たしているかということであり、その判定ツールは、①会員満足度テスト ②クラブ活力度テスト

今後のロータリーのキーワードは、D(多様性)E(公平性)I(開放性)であるということです。これらは今後もよく登場するだけに、皆さんには確認しておきたいと思います同じビジョンを共有し、同じ奉仕の心で

結ばれている同じフロアに立ち、自分のできることで、クラブに貢献する。他者を思いやる心、自分と違うものを受け入れる柔軟な心を持つことであるということです。



さて、近年ロータリーにおいては研修の方法が変わりつつあります。現在では会員はまずマイ・ロータリーのラーニングセンターでそれぞれの役割に応じたコースを選択し、あらかじめwebを通じて研修を受け、それを踏まえてセッションという少人数の会合を持ち、そこでお互いの考えを述べ合うことによって理解を深めていくという形式が多くなりました。いわゆるRLI方式です。RLIとは、ロータリー・リーダーシップ研究会です。谷ガバナーエレクトが推奨されていますが、会長エレクト、もしくは幹事エレクトはRLIを受講していただいております。入会3年未満の会員も歓迎いたします。

国際ロータリー117年にして、初めての女性RI会長ジェニファー・ジョーンズさんが誕生しました。2024～25年度はステファニー・A・アーチック氏が選ばれ、史上二人目の女性RI会長となります。ロータリーが変わりました。



大阪北部2660地区のガバナー宮里 惟子ガバナーが、お忙しい中、ご講演に来て下さいました。2660地区は日本で2番目に創立され、今年創立100周年を迎えられました。記念地区大会に私も参加させて戴きましたが感動いたしました。100年にして初めての女性ガバナー誕生です。私が一番尊敬している、ずっと憧れ続けている女性会員です。『会長が知っておくべきRIの変化とDEIについて』学ばせて戴きました。参加者の皆様好評で資料を求める声が多く、快くお引き受け下さいました。一人でも多くの方に聞いていただきたかったのですが、行事が重なり、PETSにお越し頂く事になりました。

このPETSの研修により、皆様の年度が豊かな実りの多いものになることを祈っております。



【地区活動報告】

2022学年度米山記念奨学生 修了式



地区米山記念奨学委員長 玉井 洋司

3月19日午後、和歌山市JAビル2Fに於いて、2022学年度2640地区米山記念奨学生15名の修了式を開催しました。



当日は森本ガバナー、米山記念奨学会当地区代表である樫畑理事の臨席を頂きました。修了式は修了生に対する修了書の交付、世話クラブカウンセラーに対し奨学期間中のご苦労に対し感謝状を森本ガバナーから贈呈いたしました。又、修了生には社会に出たとき必要になる名刺入れを委員会より送りました。



その後、修了生の時間として奨学期間中の思い出動画や修了生からの一言など2時間程度の短い時間でしたが、今後の生活への意気込みなど聞け、良いはなむけになったと思います。

尚、当日の参加者は次年度PETSと同日開催となりましたが、森本ガバナー、樫畑理事、米山委員13名、カウンセラー14名、奨学生20名の参加となりました。

ロータリアンの皆さんの寄付によって支えられている米山記念奨学金にご支援お願いいたします。



米山記念奨学生の皆さん！  
修了おめでとうございます。  
今後のご活躍をお祈りします。

## 【クラブ活動報告】

### 聴覚障害者支援施設へ緊急災害時の情報受信設備の設置

#### 貝塚コスモスロータリークラブ

貝塚コスモスロータリークラブ(会長 井谷隼人)は、2022年12月7日に大阪聴覚障害者協会「泉州聴覚障害者センターなんなん」に聴覚障害者向けの情報受信装置「目で聞くテレビ」専用受信機「アイ・ドラゴン」を設置しました。

大規模災害発生時の時、聴覚障害者の方は健聴者とは異なり音声言語が聴こえず、映像のみの情報しか入らない。専用受信機を設置する事により、目で聞くテレビとなり、リアルタイムに手話で字幕をつけた放送を見る事ができます。

この環境が情報源として、通所者やそれ以外の泉州地域の聴覚障害者、家族の方への発信拠点となります。ここを対策本部として運用していく事もでき、福祉避難所ともなり得ます。また、該当団体の機関紙に情報受信装置の寄贈記事が掲載されました。



2023年(令和5年)1月1日

法人だよりおおさか

第三種郵便物認可 No.336

### — なんなん 泉州聴覚障害者センター —

〒597-0033 大阪府貝塚市半田1-20-9  
TEL:072-428-6800 FAX:072-428-6801

重複聴覚障害者や地域の作業所でコミュニケーションが取れず寂しい思いをしてきた方、自宅に閉じこもりがち高齢聴覚障害者が「集い」「語り」「一緒に」作業や活動を通して豊かな暮らしを築いていくための場所です。

#### アイドラゴンがやってきた!

大規模自然災害発生時の緊急時や普段の休憩時の情報保障のひとつとしてアイドラゴンの導入を検討してきました。中塚会長を通じ、貝塚コスモスロータリークラブに相談したところ、寄贈頂くこととなりました。12月7日には役員の方と貝塚市障害福祉課の野村課長がなんなんに来られ、目録の贈呈式を行いました。なかまにもお知らせしたところ、ある日の昼食時、操作に悩んでいる職員を見かねたなかまがリモコンを器用に操作し、「こうやって使うねん」と視聴の仕方を教えてくれました。色々な番組を見ながら「これで職員も勉強したらいい」と話していました。大規模自然災害発生時の対策本部としての役割を担う為だけのものではなく、これからいろんなことに活用していきたいです。





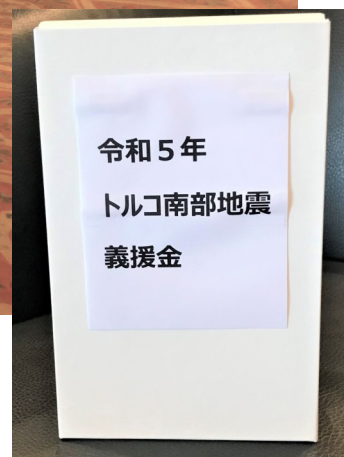
## 【クラブ活動報告】

## 令和5年トルコ南部地震へ義援金送る

## 岸和田、岸和田東、岸和田南ロータリークラブ

トルコ南部のシリア国境近くで、2月6日発生した大地震災害に対する義援金として、令和5年2月16日(木)、岸和田南ロータリークラブのホストによる岸和田3ロータリークラブ合同例会(岸和田RC、岸和田東RC、岸和田南RC)〈出席者63名〉にて募金箱を回し、127,000円が集まりました。

この義援金は、トルコ共和国 在日トルコ共和国大使館の方に送金をいたしました。



## 【クラブ活動報告】

### こども絵画コンクール「私の好きなこと」

岩出ロータリークラブ

「私の好きなことを」テーマに4歳児から5歳児を対象に地域の子供達から絵画作品を募集し、こども絵画コンクールを開催しました。今回は前年度に続いて2回目の開催でした。前年は応募数84点でしたが今回は227点の応募を頂きました。応募数が多くて嬉しい反面、子供達の絵には個性あふれる素晴らしい絵が多く審査に苦慮しました。2月26日(日)に作品展示と入賞者を父兄同伴でご招待して表彰式を行いました。



子供達にインタビューをすると、やはり絵を描くのが大好きとのコメントが多くあり、「好きこそ物の上手なれ」そのものでした。お兄ちゃんに刺激され絵を描くようになった弟さんが最高峰のロータリー賞を獲得した児童や兄弟で入賞した作品等々子供達の才能は未知数です。

こども絵画コンクールを通じてご父兄とも接することが出来、ロータリーの活動を知って頂く一歩になったと実感しました。



## 【クラブ活動報告】

## 有田川町駅伝移動例会

## 有田2000ロータリークラブ

有田2000ロータリークラブ(会長 芝 毅)は、3月5日(水)9時45から、吉備ドームで、第16回有田川町駅伝移動例会を開きました。

新型コロナウイルスの影響で3年ぶりの開催となりました。

参加者は、210名。7区間/35.1km。

アイコム手前から竹島鉄工前交差点までの間を誘導しました。(誘導区間7区)



## 【クラブ活動報告】

## 国際交流センターへの書籍寄贈

和歌山東ロータリークラブ

国際奉仕委員長 吉田 篤生

2023年3月6日、我々和歌山東ロータリークラブは国際奉仕事業として、和歌山県国際交流協会に書籍を寄贈させて頂きました。寄贈させて頂いた書籍は、ベトナム語書籍92冊、多文化理解関連書籍41冊、ウクライナ関連書籍を含む平和理解促進書籍35冊の計168冊です。昨年度も同様に121冊の書籍を寄贈させて頂きました。併せて289冊の書籍が和歌山県国際交流センターの本棚に並んでいます。センターに訪れた誰もが自由に手に取って、読書して頂けるようになっています。

今までの当クラブの国際奉仕事業は海外現地への支援を主とし、近年では2020-2021年度に地区の浄水器設置プログラムに参加しました。しかし、その後コロナ禍で海外へ赴くことが困難になりました。我々はクラブ内で話し合い、コロナ禍の日本で暮らす在日外国人の役に立つ事業こそ今の国際奉仕だと考え、国際交流協会に相談させて頂き、書籍寄贈の事業が始まりました。

コロナによる行動規制も落ち着きつつあり、今後ますます日本を訪れ国際交流センターを利用する方々も多くなることでしょう。我々和歌山東ロータリークラブ会員一同、その方々の生活の一助となることを期待しています。

最後になりますが、書籍の購入に際して地区補助金も使わせて頂きました。お陰様でクラブ単独で行うより、より規模が大きく効果的な事業が出来ました。これもひとえに地区の皆様のお陰です。地区の皆様に感謝申し上げるとともに、有意義な事業であったことを報告させて頂きます。ありがとうございました。



## 【クラブ活動報告】

## 創立30周年記念式典及び祝宴

## 海南西ロータリークラブ

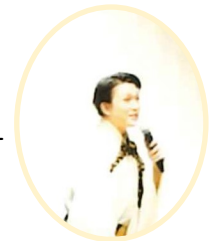
令和5年3月12日(日曜日)、素晴らしい好天に恵まれる中、海南西ロータリークラブ創立30周年記念式典及び祝宴を和歌山マリーナシティホテルにて開催しました。

森本2640地区ガバナー、松村秀一ガバナー補佐、神出政巳海南市長、そして2640地区第2分区の8ロータリークラブの会長の方々に来賓としてご出席を頂き、海南西ロータリークラブ会員15名全員、事務局1名、会員家族9名、元会員1名の参加があり、厳粛な中にも和やかに楽しく進行しました。



式典においては、森本 芳宣ガバナー、名手 聡 海南ロータリークラブ会長、中村 俊之 海南東ロータリークラブ会長の皆様に身に余るご祝辞いただき大変励まされました。

また、祝宴において、神出 政巳 海南市長におかれましてはウィットに富んだ心温まるご祝辞で場を盛り上げていただきました。



その後、小林幸子の物まねで有名な「りょう」さんのショーで楽しい時間を過ごし、記念祝宴を終えました。

海南西ロータリークラブはスポンサークラブの海南ロータリークラブ、海南東ロータリークラブ両クラブのご指導で、1992年12月に創立、1993年3月に認証伝達式を終了し、石田 侃 初代会長のもとRI2640地区の一員として出発しました。その後30年にわたりロータリーの理念の下、活動を続けてこられたのも2640地区の皆様のご支援ご協力があったることとあらためて会員一同感謝申し上げます。

30周年記念事業として海南医療センターに車椅子11台、国保野上厚生総合病院に車椅子9台寄贈、鈴木屋敷復元の会へ現金寄進、海南市築地交差点万葉歌碑周辺の剪定作業を行いました。これからも第2640地区のメンバーとして、地域に貢献するロータリークラブであるよう努めてまいります。



## 【クラブ活動報告】

### 創立25周年記念式典・祝賀会

#### 和歌山アゼリアロータリークラブ

創立25周年実行委員長 **北畑 充香**

桜の開花が年々早まり、和歌山城の桜もほぼ満開と春の訪れも感じるようになってまいりました。和歌山アゼリアロータリークラブは、和歌山ロータリークラブの皆様がスポンサークラブとしてご尽力いただき、1998年3月9日に創立総会を開催させて頂きました。早いもので、本年は創立25年を迎え、3月25日に創立25周年記念式典・祝賀会を開催することが出来ました。

コロナ禍で開催が危ぶまれましたが、当日は森本ガバナー様初め、和歌山県知事 岸本周平様、和歌山市長 尾花 正啓様、社会福祉法人 日本ライトハウス 顧問 田原 恒二様をお迎えし、和歌山市内9クラブ会長、幹事、また和歌山アゼリアロータリークラブ設立に大変お世話になりました方々、友好クラブの皆様にご出席頂き、無事開催出来ましたことに心より感謝申し上げます。

ここ数年はコロナ禍で奉仕活動もままならず、例会も休会となるなど、歯がゆい思いが多くありました。それでも創立25周年には絶対にやり遂げたいと言う強い思いで、和歌山市内にお住いのひとり親世帯にお米、インスタント食品、レトルトカレー、お子様には図書カードをセットにして600セットを用意致しました。和歌山市役所様にご協力を頂きお渡しすることが出来ました。後日ひとり親世帯の方から御礼のメールが届き、会員一同思いが伝わり良かったと感動し、次への活力になりました。

またインターアクトの設立についても、慶風高校様のご協力のもと認証式も行い、若い方々が頑張っている事を皆様に報告できました。

祝賀会では、合唱オリンピックやコンクールなどで金メダルや金賞を数多く受賞され、世界的に活動されておられます和歌山児童合唱団の方々にご披露して頂きました。澄んだ歌声で心が洗われた瞬間でした。

和歌山アゼリアロータリークラブは、皆様から心温まるお言葉を頂き、更に頑張る一步を踏み出しました。ロータリーの一員であることの喜び、当クラブの仲間が誇りに思いました。これからも会員一同頑張ってお参ります。

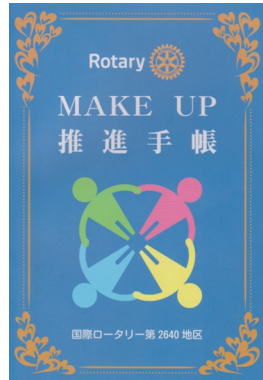


## [寄稿]

## メイクアップの勧め！と「ゴールド会員」

地区幹事 寺下 卓（海南東RC）

最近では、コロナの影響で、他クラブの例会に出席するメイクアップ（ビジター出席）は自粛傾向にありました。しかし、徐々に回復してきています。本地区でも他クラブの例会に出席するメイクアップは、会員増強委員会が作成した「メイクアップ推進手帳」を活用し、奨励しています。



皆さんも機会があれば、積極的に他クラブの例会にメイクアップしてみましょう！どのクラブも大歓迎で快く受け入れてくれます。

ロータリアンは例会に出席することが非常に大切です。ロータリアンの3大義務（例会の出席、会費納入、雑誌購読）となっています。しかし、仕事の都合等でやむなく出席できない時にどうされますか？そんな時にはメイクアップです。

他クラブの例会に出席する「メイクアップ」の良いところは、自分のクラブと違う例会を体験でき、参考となることが多々あることです。また、ロータリーの多彩な活動を知ることができます。さらに、他クラブのロータリアンの友人や知り合いに会えたり、新たな出会いを得るチャンスがあります。

最近では、メイクアップしたことがない方も多いのでは？ **ただ義務を果たすだけでなく、とても勉強になることが多いと思います。** 例会の運営や出席率向上、プログラムなど、参考になります。特にクラブ会長、幹事やSAA、出席委員長、プログラム委員長などにお勧めしたいと思います。例会への出席はクラブの活性化にとって重要な要素です。

例会の出席について触れてみます。標準ロータリークラブ定款には、会員は例会時間の少なくとも60%に出席すれば、その例会に出席したと認められます。例会に欠席した場合には、他クラブの例会に出席するか、または、定款が規定する複数の方法でメイクアップするべきと定められています。




参考まで、会員は、最低限どれだけ例会に出席する義務があるのでしょうか。クラブ定款によれば、「年度の各半期間において、メイクアップを含む例会出席率が少なくとも50%に達していなければならない」「年度の各半期間に開かれた本ク

ラブの例会総数のうち少なくとも30パーセントに出席しなければならない」「会員が規定通り出席できない場合、その会員身分は、理事会が正当かつ十分な理由があると認めない限り、終結することがある」とあります。さらに、連続欠席の場合は、「連続4回例会に出席せず、またメイクアップもしていない場合、クラブ理事会は、その欠席がクラブ会員身分の終結を要請していると考えられる旨、通知するものとする。その後、理事会は、過半数によって会員身分の終結をすることができる」なお、これらの規定にある「会員身分の終結」とは、今後クラブの会員として認めないということですから、退会を意味します。このように標準ロータリークラブ定款は、会員の出席について詳しく規定しています。このほか、定款は一方で「出席規定の免除」を認めています。

これには2種類あります。(a) 理事会の承認する条件と事情による欠席の場合。理事会は正当かつ十分な理由による会員の欠席を認める権限を持つ。このような出席規定の適用の免除は、最長12カ月間までとする。(b) 年齢が65歳以上の会員で、かつ、一つまたは複数のロータリークラブのロータリー歴（少なくとも20年）と会員の年齢の合計が85年以上であり、さらに出席規定の適用を免除されたい希望を書面をもって、クラブ幹事に通告した場合（理事会の承認は不要）とされています。高齢や健康上の理由なので、毎週の例会に出席できない会員の方が、正会員として、在籍してもらえようとする趣旨の出席規定の免除です。

私の所属する海南東RCでは、クラブ細則で「出席規定適用免除を通告した会員で、同時に理事会が承認した会員には、ゴールド会員の称号を与え、年会費を減額する」として、高齢や健康上の理由で例会に毎回、出席することが困難な方であってもロータリーの繋がりを保ち、退会することなく、正会員としてロータリアンであり続けてもらえるように「ゴールド会員制度」を設けています。これは、長年に亘り、クラブに貢献された方を称え、会費を最小限（IR分担金、地区賦課金の人頭割等）の負担とするもので、名誉会員とは別に**正会員として在籍してくれています**。現在は3名の方がゴールド会員となり、親睦会やIDMなどの主なロータリー行事に可能な限り、参加してくれています。これまでの経験を通して、アドバイスや相談を受けてくれることも多く、引き続き、長年の友情を育み、生涯ロータリアンを貫いていただけることを願っています。

## 新会員の紹介

	クラブ名	関西国際空港ロータリークラブ		クラブ名	泉佐野ロータリークラブ
	氏名	まつもと あつし 松本 厚志		氏名	かたなや としあき 刀谷 敏彰
	職業分類	保険業		職業分類	オフィス用品
	生年月日	1970年6月9日		生年月日	1967年6月27日
	入会年月日	2023年3月1日		入会年月日	2023年2月2日
	クラブ名	田辺ロータリークラブ	<h3>ロータリーで 自分の可能性を 広げよう</h3>		
	氏名	かわばた まさし 河畑 昌志			
	職業分類	歯科技工士			
	生年月日	1973年11月22日			
	入会年月日	2023年2月9日			

# 奉仕と友情の輪を広げよう

## ロータリーへようこそ！

地域社会を基盤により良い世界をめざして活動する120万人の会員から成る世界的ネットワーク、ロータリーへようこそ。

ロータリーの強さは、会員にあります。会員一人ひとりがクラブにもたらすスキル、経験、熱意が、それぞれの地域に、そして世界に変化をもたらします。会員が一体となれば、子どもたちを苦しめるポリオ（急性灰白髄炎）を世界からなくし、平和の担い手を育て、疾病、飢餓、識字、貧困といった問題も少しずつ解決できると私たちは信じています。

交流を通じてアイデアを広げ、社会奉仕への熱意を共にする人たちと生涯にわたる友情を築く。それが、ロータリーのコミュニティです。クラブ、地区、国際ロータリーのリソースを最大限に活用し、積極的に参加してください。

## ロータリーを体験し 可能性を発見しよう

- クラブとつながる
- 世界とつながる
- 地域とつながる
- まずは行動しよう





公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース

# ハイライトよねやま

vol. **276**  
2023年3月13日  
発行

## 1. マレーシア米山学友会 総会開催

マレーシア米山学友会の総会が3月5日、首都クアラルンプールに隣接するセラングール州で対面開催され、20人のマレーシア学友が参加しました。今総会の様子はオンラインでも配信され、18人が画面越しに参加しました。

総会では、活動報告、会計報告に続き、次年度の新たな会長の選出が行われ、現副会長の黄建榮さん（1998-2000/室蘭東RC）が次年度の会長に決まりました。創立時から6年にわたって会長を務めてきた黄麗容さん（2001-04/横浜泉RC）は、名誉会長として引き続き同学友会のサポートを続ける体制となります。

黄麗容会長は退任にあたり、「米山記念奨学会をはじめ、ロータリアンの皆さま、各国の学友たちの力強いご支援をいただいたおかげで、マレーシア米山学友会が大きく発展することがで



お揃いのシャツを着て総会を開催

き、心から感謝しています。私たちが築き上げてきた絆と、社会・環境奉仕活動の力は、新会長のリーダーシップの下で、さらに発展していくと確信しています」と、今後の学友会の発展に期待を寄せました。

## 2. 寄付金速報 — 2月も好調を維持 —

前年同期比

**+ 6.7%**

普 - 2.6% 特 + 12.0%

2月までの寄付金は、前年同期と比べて6.7%増（普通寄付金：2.6%減、特別寄付金：12.0%増）、約7,200万円の増加となりました。また、2019年度以降初

めて、2月単月の寄付合計金額が7,000万円を超えることができました。皆さまからのご支援に、改めて感謝申し上げます。コロナの規制も緩和されつつあり、今後はさまざまな形式での交流が可能となることが予測されます。引き続きご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

登録受付開始

### 世界米山学友による「再会 in 関東」登録受付開始

8月5日、6日に開催される「再会 in 関東」の登録がスタートしています。米山学友の活躍を実感し、ロータリーファミリーの輪を広げることのできるまたとないチャンスです。ロータリアンの皆さまも、ぜひお申し込みください。

- 本会議会場：つくば国際会議場（茨城県つくば市）
- 参加費：ロータリアン（ロータリアン学友含む）とその家族 15,000円  
米山学友・奨学生、その他（学友のご家族、友人など） 7,000円
- 登録に関する問い合わせ：saikaikanto@gmail.com
- プログラムに関する問い合わせ：yoneyamaworld@gmail.com

専用ページ --> <https://yoneyama.my.canva.site/saikai-in-kanto>

再会 in 関東 専用ページ



### 3. 第4回 ミンガラ奉仕デー 日本語 CAFÉ 開催

東京米山ロータリーEクラブ 2750 の活動のひとつに「田中作次奨学金」があります。これは、元国際ロータリー会長である田中作次氏の冠名奨学金で、ミャンマーの若者へ教育支援をするものです。ミャンマー米山学友会と連携し、米山奨学金制度を模範として、学友たちが自ら現地奨学生の選考を行っています。

2月19日、今年の田中作次奨学生たちとミャンマー米山学友会有志、ロータリアンや現役米



山奨学生がオンライン交流する「第4回 ミンガラ奉仕デー 田中作次奨学生 日本語 CAFÉ」が ZOOM で開催され、44 人が参加しました。ヤンゴン在住で、企画担当のケイズイン ウインさん（2011-13/東京たまがわRC）が日本語とビルマ語で進行役を務めました。日本留学において気を付けること、日本語の学習方法といったものから、少子高齢化問題など、各グループが日本に関連する幅広いテーマで交流しました。

参加した田中作次奨学生からは、「自ら話をするのは緊張したが、参加者の雰囲気づくりのおかげで聞きたかったことが聞けた」、「質問することに慣れる、という大切なことを教えてもらうことができた」といった感想が述べられました。また、同クラブで開発中の「非漢字圏の日本語学習者のための生活支援漢字アプリ」が、実用的な学習方法のひとつとして紹介されました。第5回は、5月13日に開催予定です。

### 4. 「ここからが始まり」 米山奨学生期間終了式

3月4日、国際ロータリー第2580地区の米山奨学生期間終了式が都内会場にて開催され、2022 学年度の奨学期間を終了した米山奨学生、継続奨学生およびカウンセラーら 108 人が出席しました。また、同地区米山学友会の 6 人が終了式の運営をサポートし、後輩たちの新たな門出を見守りました。

同地区の猪飼米山委員長の挨拶の後、当会から出席した柚木事務局長が祝辞を述べました。奨学生一人一人が壇上で終了証を受け取り、米



晴れやかな表情で記念撮影

山奨学金と、お世話になったカウンセラーやロータリアンへの感謝を述べ、「ここからが始まりだと思って努力したい」、「学友会に入って、ロータリーとの繋がりを大切にする」、「自分の専門の研究で成果を出したい」といった、各々の思いや抱負を語りました。

最後に、同地区の嶋村文男ガバナーから「皆さんの努力する姿から、私たちロータリアンが学ぶことがたくさんあります。ぜひ今後もカウンセラーや世話クラブとの繋がりを大切にしてください」というメッセージが贈られました。



終了証を受け取った奨学生(中央)と世話クラブのロータリアン

第2地域 コーディネーター補佐

若林 英博 (東京麹町RC)

会員増強について考えます。

「オープン例会」

沢山の手法の中で何がベストかと申し上げますと、オープン例会でしょう。

オープン例会とはクラブの通常例会にゲストをお招きして、実際の活動を見聞していただく、そして入会に繋がるようにお誘いをする例会です。前年度に当地区で試したところ、特に効果的であるのは地区内クラブが同じ週に一斉に開催する方法だとわかりました。交通安全週間や読書週間のようにみんなが頑張る。隣のクラブも頑張っている、我々も負けていけない。結果的にこういった競争心も手伝って、1クラブ平均2.5人の入会がありました。クラブ紹介カードの活用や『ロータリーの友』の配布など様々な手法がありますが、結果として成果が出たのはオープン例会です。しかしながら、オープン例会にゲストをお呼びするのが最大の課題です。



「人の魅力」と「組織の魅力」

私が2021-22年度ガバナーとして公式訪問で行った卓話では、会員増強は二つの側面から考えて欲しいと申し上げて参りました。一つは「人の魅力」、二つ目は「組織の魅力」です。

一番の要素は人の魅力だと思います。ロータリーの4つのテストは正しく人の魅力の核となるもので行動の規範です。信用信頼が得られている方には自ずと人は集まってきます。私は40歳でJCを卒業する時に、先輩からロータリーへ誘われました。私の父も兄もロータリアンで、小さいころからクリスマス例会などに連れて行ってもらうと、プレゼントをいただき嬉しく楽しかったのを覚えています。入会を勧められ咄嗟に考えたのは、もし私がそのクラブに入会すれば、人生の結構な時間をその方と共有す

ることになるということでした。はっきり申し上げまして、その先輩の人となりを知っていただけましたので即座にご遠慮申し上げました。その方と長い時間を共に過ごすのは気が進みませんでした。思い返しますと、これこそが人の魅力でしょう。私はこのことを自分自身に置き換えて、精進しなければなりません。ロータリアンは自分中心でなく、利他の精神を持つ、その結果会員増強に繋がるのだと思います。

「組織の魅力」は、ロータリーの公共イメージで判断されます。盛んに公共イメージを上げましょうとどのクラブも頑張っています。ポリオ根絶、災害支援、地域での奉仕活動、こういった活動はロータリーのイメージアップに繋がります。引き続き行っていく必要があります。但し気を付けなければならないのは行動さえすれば、会員が増えるという考えです。この考えに私は首をかしげます。DEIを理解し、組織の良い公共イメージを基盤として、さらに大事なものは、自分自身の魅力であって、感動を持って人生を楽しみ、4つのテストを実践し、職業奉仕の考えを活かした会社経営、社会への奉仕活動をしているかどうかです。

皆様におかれましては、更に魅力ある人として、会員増強に励んでいただきますようお願いいたします。そしてその手法は「オープン例会」です。

「人の魅力」と「組織の魅力」で  
自然と人が集まってくる

挑戦してみませんか？  
**オープン例会**

若林英博 (東京麹町ロータリークラブ)  
国際ロータリー第2580地区2021-22年度ガバナー  
2022-23年度第2地域ロータリーコーディネーター補佐



【次ページへ】

第2地域 公共イメージコーディネーター補佐  
**桑澤 一郎**(茅野RC)

昨年のポリオデーのポータルサイトを作成管理させていただき、微力ながら皆さまのお役に立てたことを大変光栄に思っております。



次年度のポリオデーに向けた方針策定も佐藤理事やRPICの皆さまにより指針がほぼ決まりつつあり、それを基にポータルサイトも次年度仕様に少しずつ変更されております。再度ポータルサイトを訪れていただき、新たに追加されました「22年ポリオデーの実績報告」のページなどをご覧いただき次年度の活動の参考にさせていただきたいと思っております。

世界ポリオデーJAPANポータルサイト:

<http://endpoliorotary.club>



さて、話は変わりますが、

今話題の「ChatGPT」についてご紹介いたします。AIが様々な疑問に的確に返答してくれるサービスです。回答は当たり障りのないものが多いですが、端的にまとめてくれるので、決まり切った文章を書く際には非常に重宝します。

以下は私が試した質問と回答です。

質問:ロータリークラブの公共イメージ向上方法についてのアイデアを教えてください

ChatGPTによる回答:

コミュニティ活動の積極的な実施:ロータ

リークラブは、地域社会で様々な活動を行っています。クラブメンバーが地域の問題に取り組む姿勢をアピールすることで、クラブが社会貢献活動に力を入れていることをアピールできます。

①クラブのPR活動:クラブが行っている活動を広く知ってもらうために、ロータリークラブのホームページやSNS、地域紙などを活用して、クラブのPRを行うことが重要です。さらに、クラブのメンバーが積極的に自分たちのクラブについて話題にしていくことで、ロータリークラブの知名度を上げることができます。

②プロジェクトの多様化:ロータリークラブは、慈善活動や社会貢献活動を行うことが多いですが、プロジェクトの内容を多様化することで、多様な人々が参加しやすくなります。例えば、環境保全活動や文化交流プログラムなど、多様なテーマのプロジェクトを行うことで、より幅広い層の参加を促すことができます。

③若い世代の参加促進:(文字数の関係で省略)

④国際交流の拡大:(文字数の関係で省略)

以上のようなアイデアを実践することで、ロータリークラブのイメージ向上が図られます。

どうでしょう? 当たり前と言えば当たり前のことを回答してきましたが、基本的なことをしっかり押さえた回答ですから、役に立つ場面もありそうです。「女性会員を増やすにはどんなことをすればよい?」「若者に興味を持ってもらうには何をアピールすべき?」などの質問にも答えてくれます。偏りがちな自身の価値観を見直すきっかけにもなるかも知れません。一度お試し下さい。以下のURLからsign up(登録)すれば無料で利用できます。

<https://chat.openai.com/auth/login>



### 第2640地区 会員数報告(2023年2月)

クラブ名	会員数				入会			退会			クラブ名	会員数				入会			退会		
	22.7.1	内女性	23.2月末	内女性	2月	内女性	累計	2月	内女性	累計		22.7.1	内女性	23.2月末	内女性	2月	内女性	累計	2月	内女性	累計
串本	6	1	6	1	0	0	0	0	0	0	松原	14	0	14	0	0	0	0	0	0	
那智勝浦	11	0	11	0	0	0	0	0	0	0	松原中	24	3	24	3	0	0	0	0	0	
新宮	49	2	49	2	0	0	1	1	0	2	美原	5	1	7	1	0	0	3	0	0	
白浜	10	1	10	1	0	0	0	0	0	0	大阪狭山	8	1	8	1	0	0	0	0	0	
田辺	83	3	84	3	1	0	4	0	0	3	太子	17	1	17	1	0	0	0	0	0	
田辺東	37	3	37	3	0	0	0	0	0	0	富田林	34	0	34	0	0	0	0	0	0	
田辺はまゆう	27	5	31	6	1	0	6	0	0	2	泉佐野	19	0	25	0	1	0	7	0	0	
有田	26	1	26	1	0	0	0	0	0	0	貝塚	14	1	14	1	0	0	0	0	0	
有田南	23	1	23	2	0	0	1	0	0	1	貝塚コスモス	11	3	12	3	0	0	1	0	0	
有田2000	15	0	15	0	0	0	0	0	0	0	関西国際空港	17	1	16	1	0	0	0	0	0	
御坊	39	3	38	3	0	0	0	0	0	1	岸和田	31	1	32	1	0	0	3	0	0	
御坊東	14	0	13	0	0	0	0	0	0	1	岸和田東	39	6	40	6	0	0	2	0	0	
御坊南	15	6	15	6	0	0	0	0	0	0	岸和田南	7	0	7	0	0	0	0	0	2	
海南	9	0	9	0	0	0	1	0	0	0	KUMATOR向日葵	8	2	8	2	0	0	0	0	0	
海南東	40	5	44	6	0	0	5	0	0	0	りんくう泉佐野	16	3	16	3	0	0	0	0	0	
海南西	16	1	15	1	0	0	0	0	0	0	羽衣	15	1	17	2	2	1	7	0	0	
Rotary E-Club Sunrise of Japan	7	2	7	2	0	0	0	0	0	0	和泉	22	0	20	0	0	0	0	0	2	
和歌山	73	1	75	1	0	0	4	0	0	2	泉大津	44	3	42	3	0	0	1	0	0	
和歌山アゼリア	28	9	29	10	0	0	1	0	0	0	和泉南	57	2	58	2	0	0	1	0	0	
和歌山東	42	0	50	0	0	0	8	0	0	0	大阪金剛	13	1	12	1	0	0	0	0	1	
和歌山城南	37	1	36	2	0	0	1	0	0	2	高石	24	1	25	1	0	0	2	0	0	
和歌山中	21	0	20	0	0	0	0	0	0	1	高師浜	11	1	11	1	0	0	0	0	0	
和歌山北	29	1	33	1	0	0	4	0	0	0	堺	39	4	40	4	0	0	3	0	0	
和歌山南	70	4	71	6	0	0	4	0	0	3	堺東	16	2	15	2	0	0	0	0	1	
和歌山東南	35	5	35	5	0	0	2	0	0	2	堺泉ヶ丘	23	3	23	3	0	0	0	0	0	
和歌山西	9	1	10	1	0	0	1	0	0	0	堺中	20	3	20	3	0	0	0	0	0	
橋本	45	0	45	0	0	0	2	0	0	2	堺北	29	1	28	1	0	0	1	0	0	
岩出	23	1	24	1	1	0	2	1	0	1	堺おおいずみ	26	3	25	3	0	0	0	0	0	
河内長野高野街道	16	3	16	3	0	0	1	0	0	0	堺フェニックス	6	2	6	2	0	0	0	0	0	
粉河	16	1	15	1	0	0	0	0	0	1	堺清陵	22	4	19	4	0	0	0	1	0	
高野山	16	0	15	0	0	0	0	0	0	1											
羽曳野	10	0	10	0	0	0	0	0	0	0	ワールド大阪 ローターリークラブ	8	0	8	0	0	0	0	0	0	
河内長野	20	4	21	4	1	0	2	0	0	0											
河内長野東	21	1	21	1	0	0	0	0	0	0	計	1,577	120	1,602	128	7	1	81	3	0	48



クラブ数	2022年7月1日 会員数				2023年2月末 会員数				2月入会		2月退会		増減						
	男性	1,457	女性	120	男性	1,474	女性	128	男性	6	女性	1	男性	3	女性	0	男性	3	女性
65	1,577				1,602				7		3		4						

**クラブを成功に導く会員増強**

**みんなを温かく受け入れるクラブづくりを!**

## 2022-2023 年度 国際ロータリー第2640地区

## MY ROTARY 登録状況 [2023年3月28日現在]

2640地区	会員数	登録人数	登録率
2023年3月28日	1,605	728	45.36%

100% 達成クラブ

貝塚ロータリークラブ

2022-2023年度  
登録率目標

65%

クラブ名	会員数	登録人数	登録率
串本	6	1	16.7%
那智勝浦	11	3	27.3%
新宮	49	16	32.7%
白浜	10	6	60.0%
田辺	84	50	59.5%
田辺東	37	10	27.0%
田辺はまゆう	30	10	33.3%
分区計	227	96	42.3%

クラブ名	会員数	登録人数	登録率
有田	26	14	53.8%
有田南	23	3	13.0%
有田2000	15	10	66.7%
御坊	39	14	35.9%
御坊東	13	7	53.8%
御坊南	15	5	33.3%
海南	9	6	66.7%
海南東	44	38	86.4%
海南西	15	1	6.7%
分区計	199	98	49.2%

クラブ名	会員数	登録人数	登録率
Rotary E-club Sunrise of Japan	8	7	87.5%
和歌山	75	51	68.0%
和歌山アゼリア	29	7	24.1%
和歌山東	50	43	86.0%
和歌山城南	36	10	27.8%
和歌山中	20	6	30.0%
和歌山北	33	16	48.5%
和歌山南	71	16	22.5%
和歌山東南	36	10	27.8%
和歌山西	10	1	10.0%
分区計	368	167	45.4%

クラブ名	会員数	登録人数	登録率
橋本	44	4	9.1%
岩出	24	7	29.2%
河内長野高野街道	16	10	62.5%
粉河	15	9	60.0%
高野山	15	8	53.3%
分区計	114	38	33.3%

クラブ名	会員数	登録人数	登録率
羽曳野	10	2	20.0%
河内長野	21	20	95.2%
河内長野東	21	2	9.5%
松原	14	8	57.1%
松原中	24	8	33.3%
美原	7	0	0.0%
大阪狭山	8	6	75.0%
太子	17	13	76.5%
富田林	34	20	58.8%
分区計	156	79	50.6%

クラブ名	会員数	登録人数	登録率
泉佐野	25	9	36.0%
貝塚	14	14	100.0%
貝塚コスモス	12	7	58.3%
関西国際空港	17	4	23.5%
岸和田	32	8	25.0%
岸和田東	41	25	61.0%
岸和田南	7	1	14.3%
KUMATORI向日葵	8	4	50.0%
りんくう泉佐野	16	7	43.8%
分区計	172	79	45.9%

クラブ名	会員数	登録人数	登録率
羽衣	17	9	52.9%
和泉	20	5	25.0%
泉大津	42	21	50.0%
和泉南	58	11	19.0%
大阪金剛	12	10	83.3%
高石	25	10	40.0%
高師浜	11	8	72.7%
分区計	185	74	40.0%

クラブ名	会員数	登録人数	登録率
堺	40	12	30.0%
堺東	15	12	80.0%
堺泉ヶ丘	23	6	26.1%
堺中	20	6	30.0%
堺北	28	11	39.3%
堺おおいずみ	25	21	84.0%
堺フェニックス	6	5	83.3%
堺清陵	19	18	94.7%
分区計	176	91	58.4%

目標達成 17クラブ

クラブ名	会員数	登録人数	登録率
ワールド大阪 ロータリーEクラブ	8	6	75.0%

### 4月の行事予定表

日付	行 事	場 所
2(日)	RLI part II 9:00~16:30	ZOOM
8(土)	和歌山城南RC 創立35周年記念例会	和歌山マリーナシティホテル
	23-24年度ガバナー補佐幹事合同会議 14:00~16:00	けやきONE401
9(日)	米山オリエンテーション・カウンセラーセミナー 及び米山記念奨学生入学式 13:00~17:00	和歌山JAビル和ABC
12(水)	地区地域社会奉仕委員会 15:00~17:30	ガバナー事務所
15(土)	ガバナー補佐・幹事合同会議 14:00~16:00	シティイン和歌山
16(日)	地区研修・協議会 10:00~	和歌山大学
20(木)	田辺RC 創立70周年記念例会	紀州白浜温泉旅館むさし
	クラブ活性化セミナー2023	東京プリンスホテル1F
21(金)	第4回ガバナー会議	東京プリンスホテル2F
22(土)	地区RA委員会会議 18:00	ガバナー事務所



### ガバナー月信の表紙写真、活動の情報をお寄せください。

ガバナー月信は、地区と地区内クラブの情報交流を促進し、各クラブの運営、活動に活かしてもらうため、情報収集に努めています。皆様のご協力をお願いします。

お寄せいただける活動情報は、文書面、資料、写真をメールでガバナー事務所へご送付ください。また、毎号の表紙写真もご提供ください。

ガバナー月信は、国際ロータリー、地区、クラブの情報をとりまとめ、掲載情報の収集等、紙面の充実に努めてまいります。皆様のご協力をお願いします。

地区IT・ガバナー月信委員会

ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY

国際ロータリー  
第2640地区 ガバナー事務所

〒640-8331  
和歌山市美園町3-34 けやきONE 301号室  
TEL (073) 426-2640  
FAX (073) 426-2660  
e-mail : morimoto@rid2640g.com

JR和歌山駅西口から徒歩7分  
阪和道、和歌山インターから約10分

